

1. 目的及び所感

(1) 出水市「地域公共交通」について

ア. “見えてきポイント”

- (ア) 2008年、周南市とツルを縁に姉妹都市締結。
人口比 40%弱、面積は1/2。
地域公共交通として「チョイソいすん」を運行中。
平日9~16、お2.4土に244地点を面状に結ぶ。料金200円。
- (イ) その日の予約状況に依り、AIKの運行経路を算出。
事前予約、会員制、民間1-1ハウの活用と、柔軟で
市民重視の経営姿勢。
- (ウ) 地元企業との運行面 さらけ付 エアステーション制で
収支改善をはかる。

人 周南市への提言

- (ア) 中山間部の急速な高齢化に対し、「いつでも、どこでも、誰がでも」利用でき、AIKの先進的な運行形態は おおいに参考となる。
- (イ) 「地域公共交通」の進化に向け、留意点として
 - ・ 職員の AI 1-1ハウの取組のための研修 提案
 - ・ 民間専門家の招致。
 - ・ 施策展開に向け、柔軟な行政組織作り。

(2) 埼玉県「移住定住施策」について ア. “見逃すべきポイント”

- (ア) 面積は $\frac{1}{3}$ 、人口比は6割。鹿嶋市・甕島両市の通勤圏。令和2年から5年間で+1,703名の人口増、鹿嶋市内に唯一。ターゲットを小学入学時の家庭に絞り、首都圏への働きかけを推進。
- (イ) 目標設定が明確な上に、市民全体の支(か)の「ウェルカム」姿勢が、特別の精進もない地方都市に奇跡を産んでいる。

イ. 同南市への提言

- (ア) 「よき器」に対する差別意識から、市民全体の「ウェルカム」姿勢の醸成策を怠ること。
- (イ) 他市にはない「公立大」「カホコントロール」「港町」等、「天・地・人」の優位性をPRす。＊
小中学校の存続、自治会加入、補助対象地の精化と、家庭間のネットワークを再構築す。
- (ウ) 目標値を短・中・長期で設定す。
- ・ 活み心地 市内/位
 - ・ 幸福度 市内/位
 - ・ 「くおぬら」同南
- ＊ 大災害時の
避難先としても